



学校だより

令和4年6月30日
横浜市立豊田小学校
7月号

開く つなげる ともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

テレビ朝会で3年の子どもたちとのふれあいを紹介しました

「思いやりの言葉で つながって いくんだよ」

学校長



ある日の休み時間のことです。2人の3年生が校庭で遊んでいました。

「今、何をやっているの。」

「思いやりの山を、つくっているの。」（ええ）

そうすると、1人増えて3人になりました。

「これを、山に植えるの。」（一本の小さな草をもって）（そうなんだ）

さらに、1人増えて4人になりました。

「これは、『思いやりの川』だよ。」（ええ）

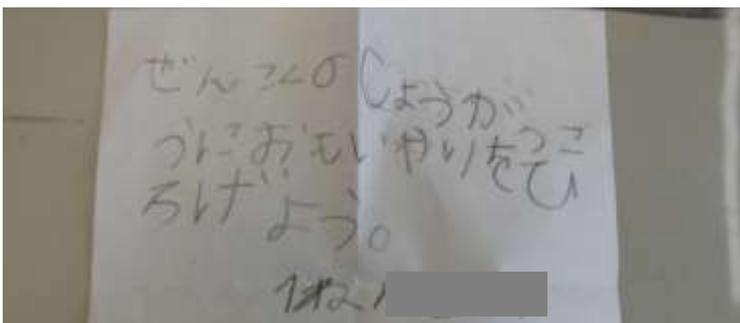
「ここは、『思いやりの国』『思いやりの世界』だよ。」（ええ）

「どんどん、思いやりの言葉で、つながっていくんだよ。」

ここで、ちょうどチャイムが鳴りました。

「明日もつくるから、見に来てね。」

なんて、素敵な場面でしょうか。なんて、素敵な場面に出会えたことでしょうか。



【思いやりボックスに届いた手紙】



豊田小学校の取組が
大きく全国に紹介されました

ICTを活用した保健教育実践「とよだ元気会議」での取り組み

【学校保健専門誌6月号「心とからだの健康」】

その日の「思いやりボックス」に、1年生からの手紙が届いていました。そこには、「ぜんこくのしょうがっこうに おもいやりをひろげよう」と、ひらがなで書かれていました。

「思いやり」とは、「思いを遣（や）る」、つまり、自分の思いを他の人まで広げ、差し向けることとあります。自分の思いを遠く遣（や）った分だけ自分の心は豊かに広がります。

だからこそ、かけがえのない可能性の宝庫を内に秘めた子どもたちの心の大地を耕し、今日もまた、希望の未来への種を蒔いていきたいと思うのです。何十年か先に、必ず大きな花を咲かせていくことを夢見ながら。